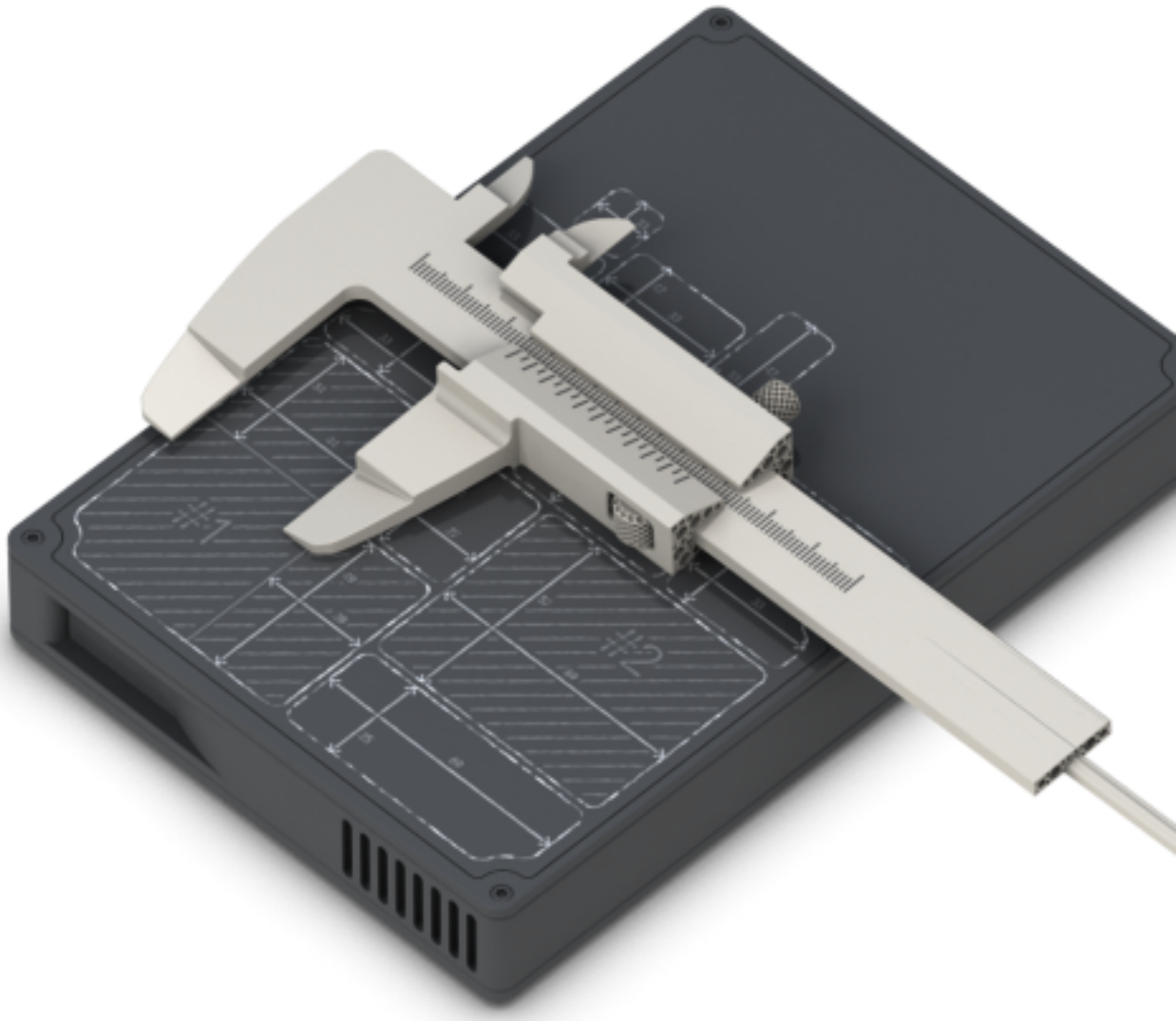


O&O software

O&O DiskCommander 5

目次

1 はじめに 3

2 最初の手順 4

2.1 O&O DiskCommander 5 について 4

2.2 システム要件 6

2.3 インストール、更新、アンインストール 7

2.4 ドライブを分析する 9

2.5 画面の使い方 11

3 ディスク容量の分析 12

3.1 ディスク使用量の分析 12

3.2 表示モードとサムネイル 13

3.3 検索とフィルター 15

3.4 統計とドライブ情報 16

3.5 2つの分析結果を比較する 18

3.6 仮想ディスクを分析する 20

3.7 ネットワークドライブを分析する 21

4 ファイルの管理 22

4.1 ファイルとフォルダーの操作 22

4.2 重複ファイルを見つける 23

5 レポートと自動化 24

5.1 エクスポートとレポート 24

5.2 分析のスケジュールと自動化 25

6 日常の使い方とヒント 26

7 リファレンス 30

7.1 クイックリファレンス 30

7.2 カテゴリ別のファイル拡張子 32

7.3 用語集 33

8 トラブルシューティング 34

9 よくある質問 38

10 新機能 41

11 O&O のサポートと関連製品 42

はじめに

O&O DiskCommander 5 は、PC の内蔵ドライブ、ネットワークドライブ、仮想ディスクで、どのファイルやフォルダーが容量を占めているかを一覧やグラフで表示します。大きなファイルや重複を見つけ、削除、移動、アーカイブできます。O&O DiskStat の後継製品です。

目的別の案内

目的	参照先
製品について知る	O&O DiskCommander 5 について
インストールする	インストール、更新、アンインストール
ドライブを分析して大きなファイルを探す	ドライブを分析する
重複ファイルを整理して空き容量を増やす	重複ファイルを見つける
問題を解決する	トラブルシューティング
サポートを受ける	O&O のサポートと関連製品

O&O DiskCommander 5 について

O&O DiskCommander（旧 O&O DiskStat）は、Windows 10 と Windows 11 でディスク使用量を分析・管理するツールです。家庭の PC でも IT 管理の現場でも、システム上のストレージの使用状況を確認し、分析結果を基に整理できます。

Windows 向けの主な機能

ディスク使用量の分析 ドライブのどのファイルやフォルダーが容量を占めるかをすばやく特定できます。内訳を基に整理すると、必要な空き容量を確保できます。

ファイル整理 組み込みのファイル操作で不要なファイルを削除し、ドライブの内容を整理できます。

使用状況の監視 使用量の変化を追い、予期しない容量不足を防げます。分析中は統計が随時更新され、段階的に結果を確認できます。

ファイル構成の可視化 複数の表示方法でストレージの構成を確認できます。

- 階層ごとの容量を面積で示すツリーマップ
- ドライブ全体の使用状況を示す円グラフ
- エクスプローラーに似た詳細、タイル、アイコン表示

複数のドライブに対応 1つの画面から次のドライブを管理できます。

- ローカルドライブ（HDD、SSD）
- ネットワークドライブ
- 仮想ディスク（VHD、VHDX）
- O&O DiskImage のイメージファイル

エクスポートとレポート マークした項目のパスをテキストに書き出して、記録や追加の分析に利用できます。CSV などの形式のレポートを作る場合は、テキストを表計算ソフトで加工します。

利用場面

個人利用

- 容量を占める大きなファイルを特定して整理する。
- 重複ファイルを探して不要なコピーを削除する。
- ストレージの使用傾向を可視化する。
- 使用量の変化を時系列で追う。

IT 管理者

- 複数のシステムのディスク使用量を分析する。
- 履歴を追跡し、変更を監査する。
- 業務用のレポートを作成する。
- 出力したパスを使い、ディスク容量の管理作業の一部を外部ツールで自動化する。

小規模な事業所

- 業務サーバーのストレージを効率よく使う。
- ディスク使用量の傾向を把握する。
- 無駄に容量を占めるデータを見つける。
- 容量の使用を見直して費用を抑える。

システム要件

- **OS：** Windows 10 または Windows 11。
- **フレームワーク：** .NET 8 ランタイム（インストーラーに同梱）。
- **プロセッサ：** 現行の x86/x64 対応 CPU。
- **メモリ：** 最低2 GB、推奨4 GB。
- **ディスク容量：** インストール用に100 MB。
- **ディスプレイ：** 最低解像度1280×720。
- **アクセス許可：** 通常のユーザー権限。ほとんどの操作に管理者権限は不要です。

インストール、更新、アンインストール

事前の準備

システムが最低要件を満たすことを確認し、インストールの妨げになる可能性があるアプリを閉じます。

インストール手順

1. **インストーラーをダウンロードする**

- O&O Software の公式ウェブサイトから最新版を取得します。
- デジタル署名を確認し、正規のファイルであることを確かめます。

2. **インストーラーを実行する**

- ダウンロードしたインストーラー（OODiskStat.exe または setup.exe）をダブルクリックします。
- ユーザー アカウント制御（UAC）が表示されたら **はい** を選びます。

3. **インストールウィザードに従う**

- 言語を選択します。英語、ドイツ語、フランス語など、使用するインストーラーに表示される言語から選びます。
- 使用許諾契約を読み、同意します。
- インストール先を選びます。既定は `C:\Program Files\OO Software\OO DiskCommander` です。
- 追加のオプションを選びます。
- デスクトップのショートカット
- スタートメニューへの登録
- エクスプローラーの右クリックメニューへの統合

4. **インストールを完了する**

- **インストール** をクリックして開始します。
- 終了するまで待ちます。
- **完了** を選び、インストーラーを閉じます。

初回起動

O&O DiskCommander の初回起動時には次の項目を確認します。

1. **ようこそ画面**

- 製品の主な機能が紹介されます。
- 次回以降も表示するか選択できます。

2. **ライセンス認証**（該当する場合）

- Professional Edition を購入した場合はライセンスキーを入力します。

- 認証ボタンをクリックしてライセンスを検証します。
- Free Edition はライセンスキーを入力せずに起動できます。

3. **初期設定**

- 使用環境に合わせて次の項目を設定します。
- 表示言語
- 分析の既定のオプション
- サムネイルプレビュー
- 更新の確認方法

更新

O&O DiskCommander では更新の有無を自動で確認できます。

- **自動確認：** 設定で有効にすると、新しいバージョンの通知を受け取れます。
- **手動確認：** **ヘルプ** から **新しいバージョンを確認して...** を選びます。
- **更新の適用：** 最新版のインストーラーをダウンロードして実行します。

アンインストール

PC から O&O DiskCommander を削除するには、次の操作を行います。

1. Windows の **設定 → アプリ → インストールされているアプリ** を開きます。
2. 一覧で **O&O DiskCommander** を探します。
3. その項目の「…」から **アンインストール** を選びます。
4. ウィザードの指示に従います。
5. ユーザー設定とデータも削除するか選びます。

ドライブを分析する

初めての分析

次の手順でディスクを分析します。

手順1：ドライブを選ぶ

1. 左のナビゲーションに使用可能なドライブが表示されます。
2. 分析するドライブ（C:、D: など）をクリックします。
3. ドライブ情報パネルに選択したドライブの基本情報が表示されます。

手順2：分析を始める

1. ツールバーまたは **分析** メニューから **分析** を選びます。**F5** はドライブ一覧の更新に使います。
2. すぐに分析が始まります。
3. 進行状況には次の情報が表示されます。

- スキャンしたフォルダー数
- 処理したファイル数
- 現在分析しているファイル
- 残り時間の目安

手順3：結果を見る

分析の進行に合わせて結果が表示されます。

1. **ファイル一覧：** 大きいファイルを分析の途中から確認できます。
2. **フォルダー表示：** 容量を多く使うフォルダーを特定できます。
3. **統計：** ファイルの種類やカテゴリ別の内訳を確認できます。
4. **ツリーマップ：** 使用量を図で示します。分析が完了すると利用できます。

手順4：ファイルを操作する

管理したいファイルやフォルダーが見つかったら、次のように操作します。

1. 対象を**右クリック**すると操作を選べます。

- エクスプローラーで開く
- 既定のアプリでファイルを開く
- パスをクリップボードにコピー
- 削除（ごみ箱に移動）
- プロパティ

2. 表示メニューで見せ方を切り替えられます。

- 詳細表示で多くの情報を確認する
- タイルで見ながら探す
- アイコンとサムネイルで画像を確認する

よく使う操作

大きなファイルを見つける

1. 分析後に **最大のファイル** タブを開きます。
2. 一覧は自動でサイズの大きい順に並びます。
3. 内容を確認し、削除またはアーカイブする候補を探します。

容量を占めるフォルダーを特定する

1. **最大のフォルダ** タブを開きます。
2. フォルダーを展開して中身を確認します。
3. ツリーでさらに下の階層へ移動できます。

ファイルの種類を分析する

1. **ファイルタイプ** タブを開きます。
2. 容量を多く使う拡張子を確認します。
3. 種類をクリックすると該当するファイルがすべて表示されます。

使用状況を図で見る

1. **ツリーマップ** タブに切り替えます。
2. 各長方形はファイルまたはフォルダーを表します。
3. 面積が大きいほど使用容量が大きいことを示します。
4. ポインターを重ねると詳細が表示されます。
5. クリックするとフォルダーの中に移動します。

画面の使い方

画面の構成

O&O DiskCommander を開くと、メイン画面に次の領域があります。

ナビゲーションパネル（左）

- **ドライブツリー：** 使用可能なドライブとそのフォルダー構成を表示します。
- **よく使う操作：** 分析、停止、更新などを実行できます。
- **ドライブ情報：** 選択したドライブの状態を簡単に確認できます。

メインの表示領域（中央・右）

- **分析結果：** ファイル、フォルダー、統計を表示します。
- **表示タブ：** 分析結果を別の観点に切り替えます。
- **ツールバー：** よく使う機能に直接アクセスできます。

ステータスバー（下部）

- **進行状況：** 実行中の処理の状態を表示します。
- **統計：** ファイル数や合計サイズなどを表示します。
- **分析キュー：** 実行待ちの分析を確認できます。

分析結果を確認する

表示を切り替える タブごとに次の情報を確認できます。

- **最大のファイル：** ファイルを大きい順に表示します。
- **最大のフォルダ：** 容量を多く占めるフォルダーを表示します。
- **ファイルタイプ：** 拡張子（.docx、.mp4、.jpg など）ごとにまとめます。
- **カテゴリ：** 文書、画像、ビデオなど、内容の種類別にまとめます。
- **ディスク容量消費：** 容量の割り当てを詳しく表示します。
- **ディスク統計：** 主な指標やグラフを表示します。
- **ツリーマップ：** 階層構造を図で表示し、クリックして移動できます。
- **重複：** 同じ内容のファイルを探して管理します。

並べ替えと絞り込み

- 列見出しをクリックすると、サイズ、名前、日付など、その列の値で並べ替えます。
- 再度クリックすると順序が逆になります。
- 列見出しを右クリックすると表示する列を選べます。
- 検索欄で名前やパスを指定すると結果を絞り込めます。

ディスク使用量の分析

詳細スキャンの仕組み スキャンエンジンには次の機能があります。

- **フォルダーの再帰検索：** サブフォルダーを含めてすべての階層を調べます。
- **詳細なメタデータ：** サイズ、日付、属性などを取得します。
- **効率的な処理：** 数百万のファイルがある場合にも対応します。
- **途中でキャンセル可能：** 途中までの結果を残したまま、いつでも分析を中止できます。
- **統計の逐次更新：** スキャンの途中から結果が表示されます。

分析のオプション 分析対象を次のように指定できます。

- **ドライブ全体：** ルートからスキャンします。
- **フォルダー単位：** 指定したフォルダーだけを分析します。
- **システムファイル：** 隠しファイルとシステムファイルを含めるか選べます。
- **シンボリックリンク：** シンボリックリンクやジャンクションの参照先をたどるか、スキップするかを指定します。

分析時間を短縮するには 次の点を確認してください。

- 分析中は**不要なアプリを閉じます**。
- 安全に行える場合は、並行している**ウイルススキャンを一時停止**します。
- **SSD** ではより短時間で結果が得られます。
- 大容量ドライブの分析は**使用が少ない時間帯**に行います。

表示モードとサムネイル

使用量を視覚的に確認する

ツリーマップ ツリーマップでは、領域の使われ方を面積の違いで把握できます。

特徴

- **階層表示：** 入れ子の長方形でフォルダー階層を表します。
- **サイズの比率：** 長方形の面積がファイルやフォルダーのサイズに対応します。
- **色分け：** ファイルの種類やカテゴリによって色が異なります。
- **階層の移動：** クリックで内側に入り、右クリックで上の階層に戻れます。
- **ツールヒント：** ポインターを重ねると詳細が表示されます。

ツリーマップの使い方

1. 分析が終わったら **ツリーマップ** タブを選びます。
2. 大きな長方形ほど容量の大きいファイルやフォルダーです。
3. フォルダーの長方形をクリックすると、その中身を拡大表示します。
4. 戻るには右クリックして上の階層に移動する ↑ を選びます。
5. ズームや表示オプションはツールバーで調整します。

表示モード Windows のエクスプローラーに似た表示モードを選べます。

細部（詳細表示）

- 列を備えた標準的な一覧です。
- 名前、サイズ、日付、種類、パスなどを表示します。
- 列単位で並べ替えられます。
- 分析や並べ替えに適しています。

小さなタイル

- アイコンと基本情報を収めたコンパクトなタイルです。
- 多くの項目を見やすく一覧できます。

中型タイル

- タイルを少し大きくして、より多くの情報を表示します。
- 画像のサムネイルを表示します。
- 追加のメタデータも表示します。

大きなタイル

- サムネイルを大きく表示します。
- 画像コレクションの閲覧に適しています。

アイコン

- 大きいアイコンとファイル名を表示します。
- 画像や動画を見た目で探すのに適しています。
- 有効にしていればサムネイルを表示します。

表示を切り替える方法

- **表示メニュー**からモードを選びます。
- ツールバーの**表示モードボタン**を使用します。
- または、表示領域を右クリックしてモードを選びます。

サムネイルプレビュー

画像ファイルの内容を縮小画像で確認できます。

対応するファイルの種類 Windows が対応する画像形式を使用できます。

- JPEG（.jpg、.jpeg）
- PNG（.png）
- BMP（.bmp）
- GIF（.gif）
- TIFF（.tif、.tiff）
- その他、Windows が認識する形式

サムネイルのサイズ

- **小：** 48×48 px（小さなタイル）
- **中：** 96×96 px（中型タイル、アイコン）
- **大：** 256×256 px（大きなタイル）

サムネイルの有効化と無効化

1. **設定** で表示オプションを開きます。
2. **サムネイルプレビューを表示** をオンまたはオフにします。
3. 変更を反映するにはアプリを再起動します。

パフォーマンスについて 生成処理にはシステム資源を使います。画像が多く動作が遅い場合はサムネイルを無効にしてみてください。

キャッシュの管理

- **サムネイルの自動キャッシュ**
- **LRU キャッシュ：** 容量に達すると、長く使用していないサムネイルから削除します。
- **キャッシュサイズ：** メモリ内に最大500個のサムネイルを保持します。
- **キャッシュのクリア：** アプリを再起動します。

検索とフィルター

検索機能 次の方法でファイルやフォルダーを探せます。

1. ツールバーの**検索欄**に入力します。
2. 入力するたびに結果が絞り込まれます。
3. ファイル名とパスが検索対象です。
4. × アイコンで検索条件を消去できます。

検索のヒント

- ワイルドカードの例：`*.txt` はすべてのテキストファイルを検索します。
- 部分一致の例：`report` は「report.docx」や「monthly_report.xlsx」などに一致します。
- 大文字と小文字は区別されません。

列フィルター 条件を使って絞り込む手順は次のとおりです。

1. 列見出しにフィルターアイコンがある場合はクリックします。
2. 「より大きい」「より小さい」「等しい」などの条件を選びます。
3. 複数のフィルターを組み合わせることもできます。
4. すべての項目をもう一度表示するにはフィルターを解除します。

統計とドライブ情報

統計とグラフ

ファイルの種類別の統計

ファイルタイプ タブ

- **拡張子別の集計**
- **合計サイズ**
- **ファイル数**
- **構成比**
- **グラフ**（円グラフまたは棒グラフ）

代表的なファイルの種類

- 文書（.docx、.pdf、.xlsx）
- 画像（.jpg、.png、.gif）
- 動画（.mp4、.avi、.mkv）
- 音声（.mp3、.wav、.flac）
- アーカイブ（.zip、.rar、.7z）
- 実行可能ファイルなど（.exe、.dll）

ファイルカテゴリ別の統計 自動的に分類されるカテゴリは次のとおりです。

- **文書**
- **画像**
- **ビデオ**
- **音声**
- **アーカイブ**
- **アプリケーション**
- **システムファイル**
- **その他**

ディスク統計

- **合計容量**
- **使用済みスペース**
- **空き容量**
- **ファイル数**
- **フォルダー数**
- **平均ファイルサイズ**

- **最大のファイル**

ドライブ情報パネル

このパネルでは、次のドライブ情報を確認できます。

状態の概要

- **円グラフ：** 使用済み領域と空き領域の割合。
- **主な数値：** サイズ、空き容量、ファイル数、フォルダー数。
- **分析状況：** 分析済みのファイル数とフォルダー数。

ファイルシステム情報

- **ファイルシステムの種類：** NTFS、FAT32、exFAT など。
- **ボリューム名**
- **シリアル番号**
- **クラスター情報**
- **MFT 情報**（NTFS の場合）

ハードウェア情報 WMI を使って次の情報を取得します。

- **モデル**
- **製造元**
- **シリアル番号**
- **ファームウェアバージョン**
- **インターフェイス：** IDE、SATA、NVMe、USB など。
- **メディアタイプ：** SSD、HDD、リムーバブルメディア。
- **バスの種類：** SATA、NVMe、SCSI、USB。
- **状態**

2つの分析結果を比較する

Professional Edition では、異なる時点の分析結果を比較できます。

分析結果を保存する

1. 分析が終了するまで待ちます。
2. **分析** から **スナップショットファイルを保存...** を選びます。
3. 保存場所と名前を指定します。
4. 結果と統計を含む分析データが保存されます。

保存した分析を開く

1. **分析** から **スナップショットファイルを読み込んで...** を選びます。
2. 保存しておいた分析ファイルを選択します。
3. 分析結果が表示されます。

分析を比較する

1. 同じドライブを異なる時点で分析した結果を2つ用意します。
2. **分析** の **スナップショットを比較してみましょう...** を開きます。
3. 基準にする古い方の分析を選びます。
4. 比較対象の新しい方の分析を選びます。
5. 次の差分を表示できます。

- **追加されたファイル**
- **削除されたファイル**
- **変更されたファイル**
- **使用容量の変化**

比較結果の見方

- 変更の種類を示す**アイコン**
- **サイズの差**
- 変更箇所の**強調表示**
- 正味の増減の**概要**

活用例

- プロジェクトのデータ量の推移を追う。
- 知らないうちに容量を消費し続ける場所を特定する。

- ソフトウェアのインストール前後の変更を確認する。
- 増加傾向を基に必要な容量を見積もる。

仮想ディスクを分析する

O&O DiskCommander は仮想ディスクにも対応しています。

対応形式

- **VHD**
- **VHDX**
- **O&O DiskImage**

仮想ディスクの分析手順

方法1：O&O DiskImage のバックアップを直接開く

1. O&O DiskImage 連携が有効な場合は **ツール** から **O&O DiskImageバックアップをロードしてください...** を選びます。
2. ダイアログに表示される対応形式の O&O DiskImage バックアップを選択します。VHD または VHDX は次の方法で Windows にマウントします。
3. **開く** をクリックします。
4. 仮想ディスクがツリーにドライブとして表示されます。
5. 通常のドライブと同じように分析します。

方法2：マウント済みのディスクを使う

Windows にすでにマウントしてある場合は以下のように操作します。

1. ドライブ一覧に自動で表示されます。
2. 通常のドライブと同様に分析します。

活用例

- **仮想マシンの管理**
- **バックアップの分析**
- **開発**
- **テスト環境の調査**

制限事項

- ディスクにアクセスでき、破損していないことが必要です。
- 読み取り専用アクセスのため、ファイル操作が制限されることがあります。
- 物理ドライブより分析に時間がかかる場合があります。

ネットワークドライブを分析する

ネットワーク共有やリモートドライブを分析できます。

ネットワークドライブに接続する

方法1：割り当て済みのネットワークドライブを使う

1. Windows でネットワーク共有にドライブ文字を割り当てます。
2. O&O DiskCommander にそのドライブが自動で表示されます。
3. 通常のドライブと同じように分析します。

方法2：UNC パスを指定する

1. エクスプローラーで対象の共有にアクセスできることを確認して、O&O DiskCommander のナビゲーションバーのパス欄を選びます。
2. UNC パスを入力して Enter を押します（例：`\\server\share`）。
3. Windows で認証が求められた場合は、共有へのアクセス権があるアカウントで接続します。パスを開けない場合は、上記の方法でドライブ文字を割り当ててください。
4. **分析** をクリックします。

処理速度について 次の要因によって分析に時間がかかることがあります。

- ネットワーク帯域幅
- サーバーの応答時間
- 通信の遅延

時間を短縮する方法

- 利用の少ない時間帯を選びます。
- 可能であれば有線接続を使います。
- 共有全体ではなく必要なフォルダーだけを分析します。
- 帯域を多く使用するアプリを終了します。

運用上の注意

- **アクセス許可**を確認してください。
- 大規模な共有の分析には時間を見込んでください。
- 結果の表示が遅れることがあります。
- ローカルドライブを分析する場合は、必要に応じて VPN を切断します。

ファイルとフォルダーの操作

基本操作 O&O DiskCommander から次の操作ができます。

開く操作

- **開く：** 既定のアプリでファイルを開きます。
- **プログラムを指定して開く：** 使用するアプリを選択します。
- **フォルダを開く：** エクスプローラーでファイルの場所を表示します。
- **ここでコマンドプロンプトを開く：** そのフォルダーで CMD を起動します。

ファイル管理

- **コピー**
- **移動**
- **削除：** 通常はごみ箱に移動します。選択項目と別にマークした項目がある場合は、マーク済みの項目が優先されます。実行前に対象を確認してください。
- **完全に削除する場合：** エクスプローラーなどでごみ箱を経由せず削除すると、ごみ箱からは戻せません。対象を慎重に確認してください。
- **名前の変更**

情報の取得

- **プロパティ**
- **パスをコピー**
- **名前をコピー**

複数選択 複数のファイルをまとめて操作できます。

- **Ctrl + クリック：** 個別の項目を選択に追加します。
- **Shift + クリック：** 連続する範囲を選択します。
- **Ctrl + A：** すべてを選択します。
- **一括操作：** 選択全体に操作を適用します。

エクスプローラーのメニューへの統合 シェル統合を有効にした場合は次のように操作します。

- エクスプローラーで**フォルダーを右クリック**します。
- **O&O DiskCommander で分析**する項目を選びます。
- アプリが起動し、そのフォルダーを直接分析します。

重複ファイルを見つける

重複を確認して不要なコピーを整理すると、空き容量を増やせます。

重複検索を開く

1. ドライブまたはフォルダーの分析を完了します。
2. **重複** タブを開きます。
3. **重複をスキャンする** を選ぶと、内容に基づいて同一ファイルを検出します。

重複検索の結果 次の基準が使われます。

- **ファイルの内容：** 名前だけでなくバイナリの内容が一致するものを探します。
- **ファイルサイズ：** 同じサイズであることが必要です。
- **ハッシュの比較：** 内容から計算したハッシュ値を照合し、一致を判定します。

結果の表示

- **グループ別の一覧**
- **コピー数**
- **重複による使用容量**
- グループごとの**元ファイルの目印**

重複を整理する

削除前の確認

1. グループを展開します。
2. 各ファイルの場所と日時を確認します。
3. 残すコピーを決めます。

削除時の選択肢

- **対象を選択して削除する**
- **最新を残す：** 新しいコピーを残して古いコピーを削除します。
- **指定フォルダー内のコピーを残す**
- **ごみ箱に移動する**

安全に整理するには

- 一括削除せず、グループを1つずつ確認します。
- 保存場所と用途を確かめます。
- 「元」と表示されたものも含めて日付を確認します。
- 重要なファイルは内容も確認します。

エクスポートとレポート

レポートを作成すると、結果を記録したり、別のツールで分析したりできます。

出力形式

バージョン5.2で直接出力できるのは、マークしたファイルやフォルダーのパスを記録したテキストです。テキストエディターで開いたり、スクリプトで処理したりできます。

CSV が必要なら、テキストを表計算ソフトに取り込んで CSV として保存します。HTML や PDF の書式、グラフ、ページレイアウトは外部のツールで作成してください。5.2 にはこれらの形式のレポートを直接生成する機能はありません。

データをエクスポートする

1. ドライブまたはフォルダーを分析します。
2. 結果一覧で出力したい項目をマークします。容量の大きいファイルだけを出力する場合は、**最大のファイル** の一覧から対象をマークします。
3. **マークされたアイテム** で **ファイルへのパスをエクスポートします...** を選びます。
4. 保存場所とファイル名を指定して保存します。既定のファイル名は export.txt です。
5. 保存したテキストを開き、必要なパスが含まれていることを確認します。

レポートを作成する場合

出力対象はマークした項目のパスです。ドライブ全体の統計、ファイルサイズ、グラフ、画面の列がそのまま付くわけではありません。日付、ドライブ名、合計サイズなども必要なら、画面の統計から必要な数値を別途記録してください。

繰り返し使うレイアウト

表計算ソフトなどでタイトル、対象ドライブ、日付、要約、表示する列やグラフをまとめたひな型を用意すると、次回も利用できます。5.2 のアプリ内にレポートテンプレートの保存メニューはありません。

分析のスケジュールと自動化

O&O DiskCommander 5.2 で分析を開始するには、アプリで対象のドライブまたはフォルダーを選び、**分析** を選択します。完了後は **分析 → スナップショットファイルを保存...** で結果を保存できます。

スケジュールした分析

5.2 に分析の時刻や頻度を設定する画面はありません。日次・週次・月次、アイドル時のみ、バッテリー駆動時のスキップ、完了通知といった分析スケジュールは設定できません。定期的に比較するには、必要な時点ごとにアプリで同じドライブを分析し、結果をスナップショットとして保存します。

コマンドラインに関する注意

5.2 は次の分析用パラメーターに対応していません。これらは使用できない表記を確認するための一覧です。

- `/analyze [path]`：パスを指定した無人分析には対応していません。
- `/output [file]`：分析結果の出力先を引数で指定できません。
- `/silent`：非表示で分析する機能はありません。
- `/format [csv|txt|html]`：分析レポートの形式を指定できません。
- `/duplicates`：重複検索を引数で開始できません。アプリの **重複** タブから実行してください。

スクリプトの例

PowerShell とバッチファイルについて

旧版の説明にある、PowerShell で日付付きの CSV を出力する例や、バッチファイルで週次レポートを生成する例は、5.2 の実行手順ではありません。Windows のタスク スケジューラから呼び出しても、上記の引数では分析やレポート生成を実行できません。分析にはアプリの **分析** を使用し、ファイル一覧が必要な場合は、対象をマークしてパスをテキストファイルに出力してください。

日常の使い方とヒント

定期的に使用量を調べる

分析のタイミング

- **週に一度**、システムドライブを分析します。
- **変化を追うために**、結果を保存して以前の結果と比較します。
- **ソフトウェアのインストールやバックアップの前に**、容量を確認します。
- **クリーンアップの後に**もう一度分析し、削除による変化を確認します。

効率よく整理する順序

1. **容量の大きいファイルから確認します。**
2. **重複ファイルを探します。**
3. **日付で並べ替えて古いファイルを調べます。**
4. **カテゴリを使って種類別に確認します。**

メンテナンスの目安

毎週

- システムドライブの使用状況をひととおり分析します。
- 容量の大きいファイルを確認します。
- 空き容量を確認します。

毎月

- すべてのドライブを分析します。
- 重複ファイルを検索します。
- 保管したい古いデータを外部メディアに移します。

3 か月ごと

- 保存済みの結果があれば、以前の使用状況と比較します。
- 用途に合うようにカテゴリを見直します。
- 一時ファイルやキャッシュを整理します。

空き容量を増やす方法

容量を占めている項目を見つける

容量の大きいファイル

- **最大のファイル**で、想定以上に大きなファイルを探します。

- 古いバックアップファイル（`*.bak`、`*.old`）を確認します。
- 大きなログファイルは、保存の必要性を確認してから移動または削除します。
- ダウンロードしたまま使っていないファイルを探します。

重複ファイル

- **重複**で同じ内容のファイルを確認します。
- 写真、文書、ダウンロードしたファイルは、複数の場所に保存されがちです。
- 元の保存場所や用途を確認し、残すコピーを決めてから他のコピーを削除します。

古いファイルや使用していないファイル

- 更新日時や最終アクセス日時で並べ替えます。
- たとえば 6 か月以上使っていないものを候補にします。日時と実際の用途を併せて確認してください。
- 必要なものは保管用の場所に移し、不要なものだけを削除します。

一時ファイル

- 代表的な保存場所は次のとおりです。
- `C:\Users\[Username]\AppData\Local\Temp`
- `C:\Windows\Temp`
- ブラウザーのキャッシュ
- 使用中のアプリを閉じてから、不要と確認できたデータを整理します。

空き容量を確保する

最初に確認する場所やファイル

1. **ダウンロード**
2. **デスクトップ**
3. **ビデオ**
4. **使い終えたインストールファイル**

不要と確認できれば削除できるもの

- 重複ファイル（必要なコピーを 1 つ以上残します）
- 保管期限を過ぎたバックアップ
- インストール済みで再導入にも不要なインストーラー
- 一時ファイルやキャッシュ
- 診断や記録に使わなくなった古いログ
- 不要な写真、動画、音声ファイル

アーカイブに適したもの

- 参照用に残したい古い文書
- 過去の写真や動画
- 完了したプロジェクト

- 過去の記録データ

操作を効率化する

キーボードショートカット

- **F5**：ドライブの一覧を更新します。使用量を再計算するには対象を選んで分析を実行します。
- **Ctrl + F**：検索に対応する画面で検索欄に移動します。反応しない画面では検索欄を直接選びます。
- **Ctrl + A**：フォーカスのある一覧内の項目をすべて選択します。
- **Delete**：マークした項目、または選択した項目を削除します。ごみ箱を利用できるかは保存場所と設定によります。
- **Shift + Delete**：エクスプローラーでは、ごみ箱を経由せずに削除する操作です。DiskCommander 内では削除対象と確認画面の内容を確かめてください。
- **Enter**：フォーカスのある項目を開く、または入力を確定します。ファイルはダブルクリックでも開けます。
- **F2**：選択したファイルやフォルダーの名前を変更します。
- **Alt + Enter**：エクスプローラーでプロパティを開きます。DiskCommander では右クリックメニューからも確認できます。
- **Ctrl + C**：ファイルをコピーします。
- **Ctrl + V**：コピーしたファイルを貼り付けます。

一覧の表示を調整する

1. 列を移動できる一覧では、列見出しをドラッグして並べ替えます。
2. 列の境界をドラッグして幅を調整します。
3. 列を選択できる一覧では、見出しの右クリックメニューで表示・非表示を切り替えます。
4. 列見出しをクリックして並べ替えます。並び順を保持する一覧では、次回も同じ順序で確認できます。

複数のドライブを分析する

1. 調べたいドライブを順に分析対象に追加します。
2. タブを切り替えて各ドライブの結果を確認します。
3. 保存した結果と照合し、どこで使用量が増えたかを確認します。
4. 空き容量が少ないドライブから整理します。

安全にファイルを扱う

削除する前に

1. ファイルの中身と保存場所を確認します。
2. 可能な場合はごみ箱に移動し、すぐに完全削除しないでください。
3. 重要なデータは先にバックアップします。
4. 削除後、Windows と使用中のアプリが引き続き動作するか確認します。

保護されたシステムファイル

- Windows のシステムファイルは削除しないでください。
- Program Files フォルダーやその中身を手作業で削除しないでください。
- 隠しファイルは用途を確かめてください。
- AppData にはアプリの設定やデータがあるため、フォルダーを一括で削除しないでください。

削除対象を探しやすい場所

次の項目は、ご自身で不要と確認したうえで整理できます。

- ドキュメント、ダウンロード、ピクチャなど、自分のフォルダー内のファイル
- 関連するアプリを閉じた後の一時フォルダー内のファイル
- 内容と必要な世代数を確認した古いバックアップ
- 自分が作成し、今後使用しないファイル

クイックリファレンス

よく使う操作

操作	手順
ドライブを分析する	ドライブを選択して **分析** を実行。F5 はドライブ一覧の更新
大きなファイルを見つける	分析後に **最大のファイル** タブを選択
重複を見つける	分析後に **重複** タブを選択
ファイルを削除する	右クリック → 削除 → 対象を確認
保存場所を開く	右クリック → **フォルダを開く**
表示モードを切り替える	表示メニューでモードを選択
結果をエクスポートする	対象をマーク → **マークされたアイテム** → **ファイルへのパスをエクスポートします...**
ファイルを検索する	ツールバーの検索欄を使用
分析を停止する	停止ボタンを選択

キーボードショートカット

キー	操作
F5	ドライブ一覧を更新
Esc	現在の操作を閉じる。分析の中止には停止ボタンを使用
Ctrl + F	検索。フォーカスが移らない場合は検索欄をクリック
Ctrl + A	すべて選択
Del	ごみ箱に移動
Shift + Del	エクスプローラーでは完全に削除。アプリ内の Del は通常の削除
Enter	選択項目を開く
F2	名前を変更
Alt + Enter	エクスプローラーでプロパティを表示。アプリ内では右クリックからも表示可能
Ctrl + C	コピー
Ctrl + V	貼り付け

カテゴリ別のファイル拡張子

文書 .doc、.docx、.pdf、.txt、.rtf、.odt、.xls、.xlsx、.ppt、.pptx、.csv

画像 .jpg、.jpeg、.png、.gif、.bmp、.tiff、.tif、.webp、.svg、.ico

ビデオ .mp4、.avi、.mkv、.mov、.wmv、.flv、.webm、.m4v、.mpg、.mpeg

音声 .mp3、.wav、.flac、.aac、.ogg、.wma、.m4a、.aiff

アーカイブ .zip、.rar、.7z、.tar、.gz、.bz2、.iso

アプリケーション .exe、.dll、.msi、.bat、.cmd、.ps1

システム .sys、.ini、.cfg、.log、.tmp

用語集

分析 ドライブまたはフォルダーをスキャンし、ファイルやフォルダー、その使用容量に関する情報を集める処理です。

クラスター ファイルシステムが領域を割り当てる最小単位です。ファイルはサイズに応じて1つ以上のクラスターを使用します。

クラスターサイズ クラスター1つの容量です。NTFS では通常4096バイト（4 KB）で、ファイルの領域割り当ての最小単位になります。

重複ファイル 名前や保存場所が異なっていても、内容が同じファイルです。内容から計算したハッシュで識別します。

ファイルハッシュ ファイルの内容から計算する識別用の値です。同じ内容からは同じ値が得られるため、内容の一致の判定に使えます。

ファイルシステム ドライブ上でファイルを整理・保存する仕組みです。NTFS、FAT32、exFAT などがあります。

断片化 ファイルのクラスターが連続せず、離れた場所に保存される状態です。読み書きの性能が低下する場合があります。

LRU キャッシュ Least Recently Used の略です。キャッシュがいっぱいになると、最後に使ってから最も時間がたった項目を削除します。

マスターファイルテーブル（MFT） NTFS で各ファイルとディレクトリの情報を管理するデータベースです。ディスク上に領域が予約されています。

NTFS New Technology File System の略です。現在の Windows で主に使われるファイルシステムです。

セクター ドライブの物理的な記憶単位で、一般的なサイズは512または4096バイトです。

シンボリックリンク（symlink） 他のファイルやディレクトリを指す特殊なファイルです。ファイルシステムのレベルでショートカットに似た役割を果たします。

サムネイル 元の画像の内容を小さいサイズで表示するプレビュー画像です。

ツリーマップ 階層データを入れ子の長方形で表す図です。各長方形の面積が使用容量などの値に対応します。

UNC パス Universal Naming Convention の略です。ネットワーク上のリソースを `\\server\share\folder` の形式で指定します。

仮想ディスク ドライブ全体を表すファイルです。VHD や VHDX などがあります。

VHD／VHDX Microsoft の仮想ハードディスク形式です。VHDX は VHD を改良した新しい形式です。

ボリューム 独自のファイルシステムを持つ論理的な記憶領域です。1台の物理ドライブに複数のボリュームを作成できます。

WMI Windows Management Instrumentation の略です。ハードウェアやソフトウェアの管理情報にアクセスするための Windows の技術です。

トラブルシューティング

よくある問題と対処方法

分析に非常に時間がかかる

考えられる原因

- 数百万件など、ファイル数が非常に多い。
- HDD やネットワークドライブなど、読み取りに時間がかかる。
- ウイルス対策ソフトが同時にファイルを検査している。
- 他のバックグラウンド処理でシステムの負荷が高い。

対処方法

1. ウイルス対策ソフトの検査と重なっていないか確認し、検査の時間帯をずらして再度試します。管理対象の PC で例外設定の検証が必要な場合は管理者に依頼してください。
2. 他のアプリケーションを閉じます。
3. ドライブ全体の代わりに、対象を小さなフォルダーに絞って分析します。
4. ドライブの状態を確認します。
5. ディスク速度が一貫して制約になっている場合は、SSD への移行も検討します。

アプリが異常終了する・応答しなくなる

対処方法

1. お使いの製品の更新を確認し、最新の修正版を適用します。
2. システム要件を確認します。
3. Windows のディスクチェック（chkdsk）でドライブにエラーがないか確認します。
4. 画像の多いフォルダーで起こる場合は、サムネイル表示を無効にして試します。
5. 問題が続く場合は、設定など必要なデータを控えたうえでアプリを再インストールします。
6. Windows のイベント ビューアーで、異常終了した時刻の記録を確認します。

ファイルやフォルダーが結果に表示されない

考えられる原因

- 対象を読み取る権限がない。
- 隠しファイルやシステムファイルが表示・分析対象から外れている。
- ファイルが使用中またはロックされている。
- シンボリックリンクの参照先をたどっていない。

対処方法

1. 管理する権限がある場所を調べている場合は、必要に応じて管理者として起動します。

2. 隠しファイルに関する分析・表示設定を確認します。
3. 対象のファイルやフォルダーを読み取れることを確認します。
4. 表示フィルターを解除します。
5. もう一度分析します。

重複ファイルが見つからない

考えられる原因

- 検索範囲に同じ内容のファイルがない。
- 見た目や名前が似ていても内容が異なる。
- 使用中のエディションで重複検索を利用できない。

対処方法

1. 比較するファイルの内容が本当に同じか確認します。
2. ファイルサイズを比較します。
3. 分析と重複検索が完了するまで待ちます。
4. 同じファイルのコピーが入っているとわかっているフォルダーで試します。

ファイルを削除できない

考えられる原因

- ファイルが使用中である。
- 削除に必要な権限がない。
- 読み取り専用になっているか、システムによって保護されている。
- パスが長く、Windows または使用中の機能の制限に達している。

対処方法

1. 該当するファイルを使用しているアプリを閉じます。
2. 管理を許可されたファイルに管理者権限が必要な場合は、管理者として実行します。
3. ご自身のファイルで、不要と確認できた場合は読み取り専用属性を解除します。
4. エクスプローラーで対象と保存場所を確認し、削除を試します。
5. 使用中のデータを保存してからコンピューターを再起動します。

サムネイルが表示されない

考えられる原因

- サムネイル表示が無効になっている。
- 対象のフォルダーに画像がない。
- 画像ファイルが破損している。
- Windows のサムネイルキャッシュに問題がある。

対処方法

1. 設定でサムネイル表示を有効にします。
2. ファイルが表示可能な画像形式か確認します。
3. Windows のサムネイルキャッシュを消去し、再作成させます。
4. アプリを再起動します。
5. 画像を対応アプリで開き、正常に読み取れるか確認します。

エラーメッセージ

アクセスが拒否された・アクセス許可エラー

意味： 一部のファイルまたはフォルダーを読み取れません。

対処方法

- 管理者権限が必要な作業かを確認し、権限がある場合は管理者として起動します。
- フォルダーのアクセス許可を確認します。
- 対象を管理する担当者と、ご自身のアカウントに読み取り権限があるかを確認します。
- 一部のシステムフォルダーは意図的に保護されています。

ドライブの準備ができていない・ドライブが見つからない

意味： ドライブにアクセスできません。

対処方法

- 外付けドライブの場合はケーブルや接続状態を確認します。
- ドライブがマウントされているか確認します。
- 仮想ディスクの場合は、元のファイルが存在し破損していないか確認します。
- ドライブの一覧を更新します。

分析またはスキャンに失敗した

意味： 分析を完了できませんでした。

対処方法

- Windows のディスクチェック（chkdsk）でエラーを調べます。
- 使用可能なメモリが十分か確認します。
- 小さなフォルダーを指定して試します。
- ログを確認します。
- アプリを再起動します。

メモリが不足している

意味： 処理に必要なメモリ（RAM）を確保できません。

対処方法

- 他のアプリを閉じます。
- 分析する範囲を小さくします。
- コンピューターを再起動します。
- 不足が続く場合はメモリの増設を検討します。
- 大規模な分析を繰り返す場合は、各回の結果を保存し、必要に応じてアプリを再起動します。

ファイルが使用中・削除できない

意味： ファイルが他の処理によってロックされています。

対処方法

- ファイルを使用しているアプリを閉じます。
- タスク マネージャーで関連するプロセスを確認します。
- 必要に応じて作業を保存し、コンピューターを再起動してロックを解除します。
- ファイルの使用が終了してから、改めて試します。

解決しない場合

O&O Software サポートに連絡し、次の情報をお知らせください。

- O&O DiskCommander のバージョン
- Windows のバージョン
- 発生している問題
- 問題が発生するまでに行った操作
- 可能であればスクリーンショット
- エラーメッセージの正確な文面

ログファイル

- **保存場所：** バージョン 5.2 では、プログラムの起動フォルダーに `OODiskCommander.log` を書き込みます。ログが作成されていない場合は、使用中のバージョンと起動フォルダーをサポートにお知らせください。
- **内容：** イベント、エラー、診断情報。
- **問い合わせへの添付：** 問題発生時の記録を添えると原因を絞り込めます。共有前に個人のファイルパスなどが含まれていないか確認してください。

よくある質問

全般

O&O DiskCommander は安全ですか?

既定では読み取り専用で分析します。削除や移動などを明示的に実行した場合だけファイルが変更されます。通常の削除ではごみ箱に移すため、そこから戻せます。

誤って削除したファイルは元に戻せますか?

通常の削除なら Windows のごみ箱から復元できます。エクスプローラーの Shift+Del などで完全に削除した場合や、ごみ箱を利用できない場所から削除した場合は、O&O DiskCommander で取り消すことはできません。

データは収集または送信されますか?

分析はローカルで行い、ファイル内容は送信しません。任意のテレメトリを有効にすると、匿名の利用統計を収集することがあります。

複数の PC で使用できますか?

エディションとライセンス条件によります。Free Edition は個人の PC で使用できます。Professional Edition は PC ごとのライセンスです。詳細はご使用のライセンス契約を確認してください。

O&O DiskStat との違いは何ですか?

O&O DiskCommander は O&O DiskStat の新しい製品名です。バージョン5以降は DiskCommander の名称で機能を引き継ぎ、改良を続けています。

技術に関する質問

Windows の使用済み容量と結果が違うのはなぜですか?

次の理由で小さな差が出ることがあります。

- MFT やシステム予約領域
- 分析中のファイルの変更
- 端数処理の違い
- システム領域を集計に含める範囲の違い

分析精度はどの程度ですか?

ファイルシステムから直接メタデータを読み取るため、高い精度で分析できます。差の主な原因は分析中の変更とアクセス権による制限です。

Windows 以外のファイルシステムを分析できますか?

NTFS、FAT32、exFAT など Windows 標準の形式に適しています。ext4、HFS+ などは Windows にマウントしていても機能が制限される場合があります。

RAID に対応していますか?

RAID が Windows にドライブ文字付きのドライブとして表示されれば、通常どおり分析できます。

外付けドライブを分析できますか?

Windows からアクセスできる USB ドライブ、外付け HDD・SSD、SD カードなどを分析できます。

パフォーマンスに関する質問

分析にはどれほど時間がかかりますか?

次の条件によります。

- ファイル数（SSD の目安は1分間に約100,000ファイル）
- ドライブの速度（通常は HDD より SSD が高速）
- 断片化の程度
- 使用できるシステム資源

分析中に PC の動作は遅くなりますか?

分析には入出力と CPU を使用します。影響を抑える設計ですが、若干遅くなることがあります。分析中も他の作業を続けられます。

分析の一時停止と再開はできますか?

停止した時点までの結果は残ります。現時点では、処理を中断位置から再開することには対応していません。再度開始すると新しい分析になります。

RAM の使用量はどの程度ですか?

ファイル数によって変わります。

- 100,000ファイルで約200〜300 MB
- 1,000,000ファイルで約1〜2 GB
- 非常に大きなドライブではさらに必要になることがあります。

機能に関する質問

異なる2台のドライブを比較できますか?

履歴比較の対象は同じドライブの異なる時点の結果です。別々のドライブはそれぞれ別のタブで開き、統計を目視で比較してください。

どのような重複ファイルも検出できますか?

ハッシュを比較し、内容がバイト単位で一致するファイルを検出します。似ていても内容が完全に同じでないものは対象外です。

一時ファイルを自動的に整理できますか?

バージョン5.2には **ツール → ディスククリーンアップ** があります。検出した候補を確認してから **選択ファイルをクリーンにする** で削除します。定期的な自動整理には Windows のストレージ センサーなどを使います。

ドライブをデフラグできますか?

デフラグには Windows の最適化機能または O&O Defrag などを使ってください。

削除済みファイルを復旧できますか?

データ復旧機能はありません。事前に対象を確認でき、既定ではごみ箱を使うため、誤削除を避けたり通常の削除を取り消したりできます。

新機能

バージョン5.0（2024年）

- 製品名を O&O DiskCommander に変更しました。
- 仮想ディスク（VHD、VHDX、DiskImage）に対応しました。
- タイルやアイコンなどの表示モードを追加しました。
- 画像のサムネイルプレビューを追加しました。
- 分析中の統計を順次更新する機能を導入しました。
- 分析キューを追加しました。
- 異なる時点の結果の比較を改善しました。
- ドライブ情報パネルにハードウェアの詳細を追加しました。
- 処理性能を改善しました。

以前のバージョン

O&O DiskStat 1.0〜4.x では、ディスク使用量分析の基本機能を提供し、性能、操作画面、機能を継続的に改良してきました。

O&O のサポートと関連製品

O&O DiskCommander 5 の使い方や問題については、O&O Software のサポートにお問い合わせください。

サポートに問い合わせる

O&O Software サポート を開き、次の情報をお知らせください。

- O&O DiskCommander のバージョン
- 使用している Windows のバージョン
- 分析したドライブとその容量
- エラーが出た場合はメッセージの全文

パスワードやライセンスキーは送信しないでください。サポートには不要です。

ライセンス

エディションとライセンスについては O&O DiskCommander の製品ページ を参照してください。

その他の O&O 製品

製品	用途
O&O DiskImage	ドライブおよびシステム全体のバックアップと復旧
O&O SafeErase	ファイル、ドライブ、PC 全体の安全な完全消去
O&O Defrag	PC とサーバーのストレージ最適化
O&O DiskRecovery	削除したファイルの復元

O&O の製品一覧 もご覧ください。